

## 薬物乱用防止教室

9月25日（水）に、全校生徒と希望される保護者の方を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。薬物アルコール依存症回復支援施設である新潟ダルクの施設長 田中五八生（いわお）様を講師に迎え、「新潟ダルクからのメッセージ」と題してご講演いただきました。

田中様は、ご自身の経験をもとに、薬物の恐ろしさやダルクという施設について、友だちの大切さ、相談することの大切さをお話ししてくださいました。

講演の後、田中様から「絶対に犯罪者にはなってもらいたくない」と強いお言葉がありました。犯罪者になると、社会に戻りづらくなる、兄弟の結婚式にも呼ばれなくなる、家族にも影響を与えてしまうなど、将来を制限されてしまいます。実際にご経験なされた田中様だからこそ、とても説得力のあるお言葉でした。

今回の講演会で感じたことを忘れずに、今後の人生において薬物から身を守ることができるよう過ごして行ってほしいと思います。



### （感想）

- ・薬は1度やめればずっとやめていられるわけではなく、「気がついたらまた始めていた」というケースがあることを知りました。身近な人から誘われ、誘う側も断らなそうな人を選んで誘ってくるため、友達はちゃんと選んだ方が良いと分かりました。友達も家族も薬で失うのはすごく嫌なので、これから先の人生でも薬を使わない生き方をしていきたいと思いました。
- ・1回やめてもまたやってしまうほど覚醒剤は怖いものなんだと思いました。実際に体験したことを聞いてよかったです。お酒や合法の薬でも同じだということが分かりました。自分の付き合い友達を選ぼうと思いました。
- ・実体験の説明がとてもくわしくて、やめたくてもやめられない苦しみがとても伝わってきました。私には関係ないだろうと思っていたけれど、一気に身近に感じてきて、とても怖いと思いました。
- ・興味本位で薬物に手をつけるのはよくないと思いました。人は関わる人と環境で変わるものだったのだと思ったので、物でしか付き合えないような友達は作らないようにしたいと思いま

す。違法なものでないお酒やタバコ、市販薬でも過剰摂取になれば依存症という病気になってしまうので、今後そうならないように気をつけたいと思いました。

- ・自分の体験を言っていて、すごく話が入ってきやすかったです。家族や恋人から見放されて、心細かったと思うけど、変わろうとする努力がすごいと思いました。
- ・友達をたくさん作ったり、周りの人をもっと大切にしたりしようと思いました。薬物は1度でもやってしまうとリスクがあるので、これからも心身ともに健康でいるために使わないでいたいです。
- ・すごく過酷な人生でびっくりした。薬物の危険性を改めて痛感したし、誰かに誘われてもちゃんと断って、縁を切ろうと思います。オートバイを盗んだりシンナーを吸ったり、そういうことも絶対にしないようにして幸せに暮らしたいと思います。もし依存症になってしまったらダルクに行きたいと思います。
- ・自分は嫌だと感じたら逃げる。五八生さんは友人や先輩に誘われたり吸ったりしていたけど、最終的にはダルクによってやめて、ダルクに所属していたことがすごいと思いました。色々な経験をして間違いに気付いたことがすごいと思いました。